

量子科学技術国際卓越大学院プログラム(WINGS-QSTEP)
Q-STEP生（2023年度2次募集）
募集要項

[応募対象：2023年春および2023年秋博士課程入学者]

本プログラムの教育研究上の目的

21世紀における量子科学技術は、量子物理、量子化学や量子生命科学といった基礎的な学問領域を強固に固めつつ、それらを越えて社会実装を明確に意識した工学に展開するという視点から、社会を大きく変革することが期待されている。このことから、量子科学技術を自在に使いこなす量子ネイティブの教育や速やかな社会実装を可能とする適切なキャリアパス支援が喫緊の課題である。本プログラム制度では、量子科学から量子技術まで広く俯瞰できる研究教育プログラムを展開するとともにキャリアパス支援プログラムを提供することで、幅広い量子科学技術に精通し、速やかな社会実装を通じてSDGsやグローバル・コモンズに適合する課題を解決する人材育成を行う。

※ 量子科学技術国際卓越大学院プログラムに関する詳細は、次を参照のこと。

<https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/q-step>

1. 申請資格

本プログラム生の申請をすることのできる大学院学生は、次の要件を全て満たす者とする。

- ・ 本学大学院の工学系研究科「電気系工学専攻」「物理工学専攻」「原子力国際専攻」「機械工学専攻」「精密工学専攻」「バイオエンジニアリング専攻」、理学系研究科「物理学専攻」、総合文化研究科「広域科学専攻」、新領域創成科学研究科「物質系専攻」の2023年春および2023年秋博士課程入学者。
- ・ 量子科学技術を中心とした分野で博士の学位を取得しようとする者
- ・ 量子科学技術の社会実装・産業応用に関心を持ち、積極的にそれらを学修する意欲のある者
- ・ 本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解し、本プログラムに関わる活動等に協力する者
- ・ 本プログラムに採用された場合には日本学術振興会（JSPS）特別研究員に応募し、採用された場合にも本プログラムに引き続き在籍することを確約する者

ただし、2023年10月1日時点で以下のいずれかに該当する学生は申請することができない。

- ・ 休学中の学生
- ・ 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生、日本学術振興会(JSPS)特別研究員(DC)、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業採用学生、文部科学省卓越大学院プログラム(WISE)生
- ・ 博士課程教育リーディングプログラム生、国際卓越大学院教育プログラム(WINGS)生
- ・ 「グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成」プロジェクト(SPRING GX)生
- ・ 東京大学および国立研究開発法人の事業(*1)により月額16万円を超える経済的支援を受けている学

生

- ・ 所属する企業等から、生活費相当額として十分な水準(240万円/年以上)で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生

なお、採用後は、東京大学からの支援については、SPRING GXの支援額(月額18万円)と合算して、月額28万円を超えることはできない。

(*1) 本募集要項においては、財源にかかわらず東京大学又は国立研究開発法人が機関として責任をもって経理を行っている活動をいう。

2. 選抜方法

プログラム生の選抜は、申請書類による書類選考等により行う。なお、必要に応じて面接等を行うことがある。

申請はSPRING GXのWebサイト(https://www.cis-trans.jp/spring_gx/)から行う。

申請時に、志望するWINGSとして、**量子科学技術国際卓越大学院(WINGS-QSTEP)**を選択すること。

※SPRING GX: 博士課程学生支援(グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成)

3. 採用期間及び資格試験時期

プログラム生の採用期間及び資格試験(Qualifying Examination)時期は下表の通りである。なお、資格試験の結果によってはプログラム生の身分喪失あるいは自立支援費が減額となる場合がある。

入学時期	採用期間	資格試験時期
2023年春	2023年10月1日～2026年3月31日	2025年7月～8月
2023年秋	2023年10月1日～2026年9月30日	2026年1月～2月

4. 自立支援費・研究費の支給

プログラム生には、月額18万円の自立支援費が支給される。ただし、プログラムの履修状況によっては自立支援費の支給額を減額する場合がある。また、プログラムを履修する場合でも、自立支援費の受給を辞退することができる。

なお、自立支援費を受給した場合は、他の奨学金等の受給ができなくなる場合もあるので留意すること。アルバイトに関してはSPRING GXの規定に準じる。

また、工学系研究科および理学系研究科のプログラム生には年額34万円(当該年度の採用期間が半年の場合は17万円)の研究費を支給する。

なお、長期離日する場合、自立支援費および研究費を支給できない場合がある。

5. 募集人員

専攻	募集人員※ (量子科学技術国際卓越大学院)
電気系工学、物理工学、原子力国際、 機械工学、精密工学、 バイオエンジニアリング（工学系研究科）、 物理学（理学系研究科）	若干名
広域科学専攻（総合文化研究科）、 物質系専攻（新領域創成科学研究科）	若干名

※この募集人員数はSPRING GXとは別枠である。

6. プログラム生の選抜結果発表及び採用手続き

- (1) プログラム生の選抜結果の発表は、2023年9月15日（金）までに行う。
- (2) 採用手続書類は発表後に電子メールにて採用内定者に送付する。採用内定者は、採用手続要領により、所定の期間内に必要な採用手続（採用手続書類の提出）を行うこと。所定の期間内に採用手続を行わない場合は、採用内定を辞退したものととして取り扱う。

7. プログラム生申請手続き

(1) 申請書類

(a). 申請者情報

募集ページに掲載の申請用ウェブサイトにて、必要事項を入力すること。その際、関連するWINGSとして量子科学技術国際卓越大学院を選択すること。

(b). 申請書

募集ページから所定の様式をダウンロードして記入し、電子ファイル（WORDを変換したPDF）を申請用ウェブサイトにある所定箇所からアップロードすること。

(c). 指導教員の確認票

採用内定となった学生は、指導教員に採用内定となったことを伝え、Q-STEP生として活動することの許可を得ること。また、指導教員からQ-STEP事務局に確認票を提出するよう、指導教員に依頼すること。指導教員から確認票の提出がなされない場合には、最終的に採用されないことになるので注意すること。なお、採用内定時に指導教員が決まっていない学生は、入学する専攻の専攻長に確認票の提出を依頼すること。確認票の提出方法は採用内定時に通知する。

(2)申請用ウェブページ

<https://spring-gx.adm.s.u-tokyo.ac.jp/ja/>

(3)申請締切

2023年8月1日（火） 15:00

受付期間終了直前は、サーバーが混み合う可能性があるため、余裕を持って申請すること。

受付期間を過ぎた場合は、申請途中であっても受理しない。

8. Q-STEPとSPRING GXとの違いについて

- ・国際卓越大学院としての修了証はQ-STEP生のみ授与。
- ・副指導教員、インターンシップの選定は、Q-STEP生の希望を優先する。

9. 注意事項

- (1)申請締切までに必要書類が完備しない申請は、受理しない。
- (2)申請手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。
- (3)事情により、申請手続等について変更することがある。変更があった場合は、改めて通知する。
- (4)申請に当たって知り得た氏名、その他の個人情報については、①選抜（申請処理、選抜実施）、②採用者発表、③採用手続、④キャリア開発・育成コンテンツの実施、⑤追跡調査、⑥研究奨励費及び研究費の支給に関する業務を行うために利用する。また、科学技術振興機構(JST)にモニタリング調査のために氏名及びメールアドレスを提供する。
- (5)申請書における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡ってプログラム生であることを取り消すことがある。
- (6)採用者の氏名および所属専攻はウェブサイトで公表する。
- (7)採用者は、研究倫理教育を必ず受講しなければならない。

10. 問い合わせ先

Q-STEP事務局

office@q-step.t.u-tokyo.ac.jp

2023年7月